

お気に入りのぬいぐるみたちが、夜の図書館で冒険したよ♪

「ぬいぐるみおとまり会」が開催されました！

14日（土）、「ぬいぐるみおとまり会」に参加した子ども達が、中央図書館（荻窪3-40-23）におとまりさせていたぬいぐるみを迎えにきました。この催しは、図書館がお気に入りのぬいぐるみを約2週間預かり、ぬいぐるみが夜の図書館で読書をしている姿を写真に撮り、一冊のアルバムにして子どもたちにプレゼントするものです。身近なぬいぐるみが図書館で遊んでいる姿を見て、子どもたちに図書館や読書に対して親しみを持ってもらう事をねらいとして実施されました。

この「ぬいぐるみおとまり会」は、子どもたちに図書館や読書に興味を持ってもらう事を目的としたアメリカ発祥のイベントで、近年日本でも開催する図書館が増えてきました。中央図書館では2012年から始まり、4回目となる今回は26名の応募があり、抽選で選ばれた0歳～12歳の子どもたち15名の大切にしているぬいぐるみが参加しました。

図書館閉館後、スタッフが子どもたちから預かったぬいぐるみを撮影し始めました。貸出カゴに本を入れているウサギや犬、ヘッドフォンを耳に当てるカピバラ、一緒に仲良く本を読むヒツジとサルなど、まるでぬいぐるみたちが本の国で冒険をしているようです。

14日（土）、子どもたちがぬいぐるみを迎えにやってきました。可愛がっていたぬいぐるみと共に、この2週間の様子を約10枚の写真に収めたA5サイズのアルバムが、子どもたちに一人一冊ずつ手渡されました。アルバムは、表紙にそれぞれぬいぐるみの名前が印刷されているオリジナル仕様になっており、子どもたちは写真を見て、「かわいい！」「お仕事のお手伝いをしていたんだね！」と満面の笑顔を浮かべていました。図書館スタッフは「ぬいぐるみが読んでいた本と同じ本を借りに来る子もいます。このおとまり会をきっかけに、図書館を好きになってもらえるとうれしい。」と話していました。



ぬいぐるみが読んでいた本と同じ本を借りに来る子もいます。このおとまり会をきっかけに、図書館を好きになってもらえるとうれしい。」と話していました。



【問い合わせ先】

中央図書館 TEL：3391-5754

総務部広報課 TEL：3312-2111